

トスレック

トスレック（京都市南区、三笠日郎社長）は、新型コロナウイルス除去率が99.9%以上で、マスクなどに吹き付けると除菌効果が48時間持続する除菌水「オゾファイン」を開発した。独自のウルトラファインバブル製造技術を活用。効果は同ウイルスを用いた検査機関の試験で確認した。除菌能力がボトル封入で6カ月間維持するのも特徴だ。抗ウイルス製品の知見を持つ企業などと協業する形で市場投入する。

ファインバブル活用除菌水

新型コロナウイルス 99.9%除去

吹き付け後48時間効果持続

酸化力が強く、ウイルス内部の核酸も破壊するとされているオゾンを用いた除菌水。大腸菌や黄色ブドウ球菌も除菌できる。スプレーボトル入り試供品提供をこのほど始めた。業務用の液売り（1L、消費税込み価格1万1000円）、オゾファイン生成装置（同1100万円から）で、医薬品や化粧品メーカーに提案。新規事業として2022年に年1億円の高売上を目指す。

飲料の殺菌、カキのは100万分の1で

ブル周囲を添加剤で覆

（京都）



独自のウルトラファインバブル製造技術を活用した（除菌水「オゾファイン」）

……一般的なオゾン水やオゾンウルトラファインバブル水は、開発品同様に除菌や抗菌効果に優れるも、生成後の除菌能力の維持時間が数十分から数時間と短く課題だったという。

トスレックはプリン

ノロウイルス浄化などの用途で培った独自の技術を応用した。超音波でバブルを直径約90ナノメートル（ナノは10億分の1）に圧壊処理して微細化。高濃度20ppm（ppmは100万分の1）で

……小さいほど水中に長くとどまる。開発品のバブルは微細・均一で、除菌能力が長寿命。バブル周囲を添加剤で覆

……トスレックはプリント基板の設計、製造などが主力事業で、ファインバブル事業は14年